

2011年1月
改定予定

住みつづけたい・住んで良かったまち 住宅マスタープランの改定を進めています

【この計画に関する問い合わせ】住宅課
市役所中町第三庁舎1階 ☎709・0579

■どうして見直すの？

現在の「町田市住宅マスタープラン」は、「緑を重視した計画的な居住地の形成」を基本理念に「住宅供給の推進」「住環境整備の推進」を主要な施策として位置づけ、1993年から2010年までの計画として策定されたものです。

計画に基づき、市営住宅の建替えや地区計画制度等を活用した良質な住宅の確保に努めてきました。

また、福祉施策との連携により、高齢者や障がい者に対応した公共住宅の供給を図ってきました。

策定後16年が経過し、少子・高齢化など社会情勢の変化や、住宅のバリアフリー化等への対応、1960年代に建設された大規模団地の再生や、住宅の長寿命化・耐震化、省エネルギー対策等が課題となっています。

また「住生活基本法」が2007年4月1日に施行され、「住宅の量の確保」から「住宅の質の向上」へと国の政策転換が図られました。

こうした背景により、2011年以降の町田市の住宅政策の方向性を示すため、マスタープランの改定に着手しました。

■検討する内容はなに？

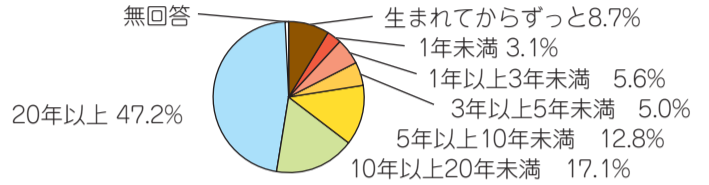
- ①少子・高齢化の社会に適応した住宅政策
 - ②安全・安心の実現
 - ③良好な住環境の形成
 - ④住みつづけるための環境づくり
 - ⑤団地の再生
- など、さまざまな政策課題を検討していきます。

■市民アンケートの集計

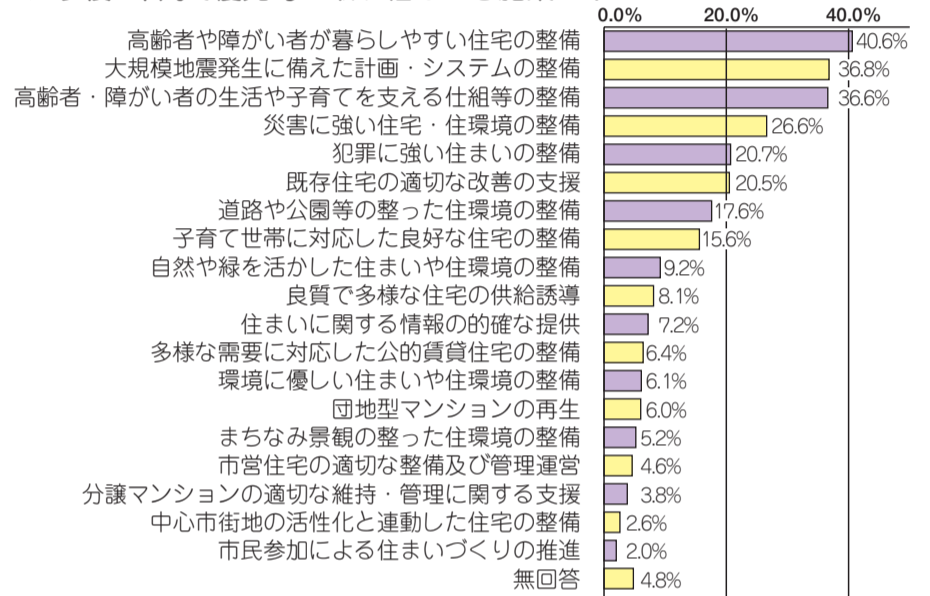
住まいに関するアンケートは、市内在住の20歳以上の方5,000人を対象に、昨年10月に無記名で行ったもので、約35%の回答率でした。回答結果の一部をご紹介します。

詳しくは、町田市ホームページに3月以降掲載予定です。

Q. 町田市に住み始められてどのくらいになりますか？



Q. 今後5年間で優先的に取り組むべき施策は？



2009.11月集計

2011年3月
改定予定

庭先の緑から谷戸山の緑をつないでいく 緑の基本計画の改定を進めています

【この計画に関する問い合わせ】公園緑地課
市役所木曾庁舎1階 ☎793・7613

■どうして見直すの？

1999年に「町田市緑の基本計画」を策定し、目標としていた2010年を迎えようとしています。市では計画に基づき、緑地の確保や、公園の整備を積極的に進めてきました。

この間に社会情勢は変化し、地球環境問題や、災害への備え、うるおいのあるまちづくりなど、緑の果たすべき役割は増加しています。

そこで、市内に緑をどのように配置するべきか、実現するにはどんな施策が必要かを明らかにするため、2020年を目標とした、緑の基本計画の改定に着手しました。

■主な課題はなに？

計画的に緑を保全・活用していくには、具体的な計画内容をわかりやすく公表する必要があります。

身近な公園が不足している地域に、重点的に公園を配置していく必要があります。

多摩丘陵の緑から身近な公園の保全・管理について具体的な方法を検討する必要があります。

■計画の内容(案)

現況・推移 10年間の緑の推移をまとめ、現在の緑の状況を示します。

検証 10年間の取り組みを見直し、今後の課題を抽出します。

将来像 新たに、緑を守り増やすための目標値を定めます。

図示化 公園の整備・緑地の保全について具体的に図面で示します。

手段・方法 緑を守り、増やしていくための手段を示します。

■検討委員会を設置し、アンケート調査を行いました

○町田市緑の基本計画改定検討委員会

緑に関する学識経験者や、関係のある市民団体、公募による市民代表で構成される検討委員会を設置しました。

昨年、10月に第1回の委員会を開催し、11月には、町田の緑の状況を把握するため、現地視察を行いました。

今年からは、町田の緑の状況の把握や、課題について様々な分野の方からご意見をいただき、計画づくりを進めていきます。



(現地視察の様子)

○町田市の緑に関するアンケート調査の実施

昨年11月から12月にかけて市内在住の20歳以上の市民の方4,000人を対象に、市民アンケートを実施しました。

【主な質問内容】

- ・緑に関する第一印象について
- ・お住まい周辺の緑の現状について
- ・公園や緑地に望むこと
- ・緑を守り育てていくための方策について
- ・緑の確保の方向性や手法について



(アンケート調査票)

詳しくは、町田市ホームページに4月以降掲載予定です。